クリスマス会

おやつ作り・・・自治会で取り組みました

感田神社で午年の誓い

書初めにもチャレンジ!!

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、せんごくの里をあたたかく見守り、ご支援いただき感謝申し上げます。

さて、昨年末の国会で、国連の障害者権利条約の承認案を参議院本会議で可決し、正式に承認されました。国連に加盟する国と地域の中で139番目となりました。

この権利条約は、障害を理由に差別はやめて、障害のある人に障害の無い人と同等の権利を保障する人権条約であり、多くの障害者団体の思いがようやく実現できたことになりました。しかし、障害者基本法も障害者差別解消法も障害のある人と関係者が望む水準には至っていない現実があります。

国内の障害者施策を障害者権利条約の水準まで引き上げる新たな取り組みが求められ、基本は利用者、家族の立場に立脚してほしいと願わずにはいられません。

障害者施策を障害者権利条約の水準に引き上げる一歩を

せんごくの里　所長　岡田　透
職員一同

せんごくの里ニュース
ふなで
2014年1月　第8号

〒597-0051 貝塚市王子1183-3
TEL. 072-437-1075
FAX. 072-437-1076
発行者：岡田　透

中央公民館で開催 作品展に出展

消防訓練

2013年12月6日（金）貝塚消防署の方に来ていただいて防災訓練を実施。最初に厨房から出火した想定で避難訓練、全員がスムーズに屋外に避難することが出きました。次に消火訓練で実際に消火器を使用してその使い方を学び、その後、館内で防災についてのＤＶＤを見ながら話を聞きました。みなさん最後まで真剣に訓練に参加し、とくに火災、地震の映像が流れた場面では表情もいっそう引き締まり、訓練の大切さを実感していたのがとても印象的でした。

ご寄贈の御礼

先年末に、(福)大阪障害者自立支援協会から、「胥美代子氏福祉基金」による車椅子の寄贈がありました。利用者の日中の散歩にフル活用しています。

また貝塚市の社会福祉協議会からは昨年に続いて、社協「善意銀行」に寄せられたもち米でついて下さった小餅をたくさん頂きました。初出の日に白味噌仕立てのお雑煮に入れて美味しく頂きました。ありがとうございました。

新職員紹介

去年の10月から、みなさんと一緒にお仕事させていただいています。飛澤といいます。まだまだ、わからないことだらけですが、今後ともよろしくお願いします。

飛澤　英美

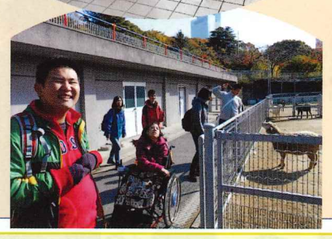
山口 智恵

10月よりお世話になっている山口智恵です。せんごくの里のみなさんとお仕事を頑張っていこうと思っていますので、よろしくお願いします。

秋の一日外出 行ってきました

行き先

11月７日（木）　とんぼ池公園
11月15日（金）　花の文化園
11月20日（水）　ハーベストの丘
↓（雨のため変更）
花の文化園
11月29日（金）　天王寺動物園
12月５日（木）　交通科学博物館



わくわく班

ワークセンター「すっく」内 Cafe taiyouで

毎年11月頃から年末にかけて軽作業が大量に入荷して年末ギリギリまで忙しい日々が続きます。今年もありがたいことにお仕事をいただくことができました。１年の中で一番忙しい時期です。散歩も行くことができない日々も続き辛いと思う時期もあったと思います。そんな中、皆で「仕事が終わったら喫茶店で打ち上げをしよう！」という言葉を合言葉にして目標に向かっていきました。

ようやく仕事も終わりを迎え全員でワークセンターすっくのカフェ taiyouで一年間お疲れ様会をすることができました。乾杯をして「1年お疲れ様でした。」とゆっくり喫茶を楽しみました。大変な時期でしたが皆で力を合わせて乗り越えることができたと感じました。

幸せうまれる年へ 駆ける

いきいき班

いきいき班は、土曜日利用の方も含め、18人で作業に取り組んでいます。

牛乳パックを再生利用した葉書や、コーヒー豆の消臭袋など、エコ商品の製作 を中心に、ティッシュケースやラベンダーの香り袋をはじめ、縫い物商品も手がけています。ただ、スペースが限られた作業室では、全員が作業に集中するのが難しくなることも多くなり、そこで「縫い物の日」、「コーヒー豆計量の日」などと作業の曜日を決めて作業室を移動。人数を分けて作業環境の改善を図っています。

また、体力の維持をかねた散歩や園芸作業も含め、日々の日課を調整することで、作業をスムーズに進めています。

『新年買出し』

新年を迎え、お店をきれいにし、食材料をカフェメンバーで買出しに出かけました。
普段は接客があって買い物に行けないのもあり、外出気分で出かけていました。それでも、重たい荷物をみんなで協力して運んでくれていました。

白いくも

『商売繁盛!!』

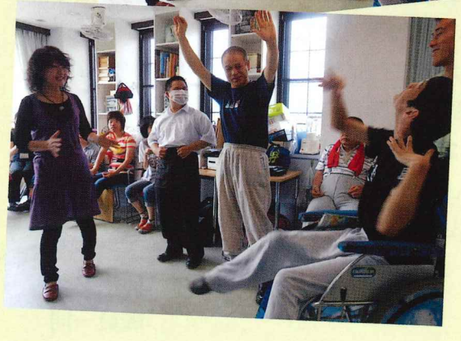
毎年、貝塚二色ノ浜近くにある、脇浜えびす神社に白いくもメンバーで、商売繁盛のお願いをしてきました。

『冬のセール』

２月８日（土）に、菓子パンのキャンペーンセールを行う予定です。皆さんふるってお越し下さい。

音楽療法

大切な個性、こだわりを大事に意欲へつなげる



ミュージック・ケアの（MC）のお話し第３弾です。今回は情緒の安定について考えてみたいと思います。

絵本を膝に置いたまま参加する方がいらっしゃいますが、片手で楽器を持ちリズムを刻んでいるのです。「絵本を持ったらダメ」と言わない職員さんとの関わりがあるからこそ、音楽が耳に届き、音楽を感じる事ができるのでしょう。そして安心してセッションの場に居ることができるのだと思います。

また、音響のマイクを持ちたくて我慢ができない方がいらっしゃいます。「曲名を紹介してね」と約束すると、一曲が終わってマイクが持てる瞬間まで、頑張って気持ちをコントロールしています。そして（言葉は聞き取りにくいですが）笑顔で曲名を言ってます。

どちらもほんの一例ですが、「ダメとは言わない」から情緒が安定し、活動に取り組む意欲が繋がるのだと感じます。次回はどんなお話をしましょうか…。お楽しみに。

北大阪ミュージックケア研究会代表
浦川 暁美

家族の思い

学校を卒業し 新たな歩みを始めた2013年

住 かをり

３月。12年間お世話になった支援学校を卒業しました。新しい環境に戸惑うだろうな、と覚悟していました。

４月。せんごくの里へ人生の岐路を向け緊張の船出です。嬉しそうに、好奇心の表情でバスを待っています。夏以降も、戸惑う様子もなく過ごせました。

体調、生活面で課題はありますが、笑顔で出発した日を忘れずに、歩んでいきたいと思います。

温かく迎えていただき感謝しております。これからも宜しくお願い致します。

「せんごくの里」で 充実の毎日を

板原みよ子

秀興がせんごくの里に通うようになって三年が経ちます。作業所が出来たときからなので仲間もいっぱいです。せんごくの里には一番の車で迎えに来てもらい、玄関の前で今か、今かと楽しみに待って行ってます。

「家と作業所とどちらが楽しい」と聞くと、すぐ、「せんごくの里」と答えが返ってきます。せんごくの里では、色々な作業に頑張っているみたいで、本人も充実した毎日を送っています。

家族もだんだん歳をとり、思うように秀興にしてあげられなくなり、月一回ガイドヘルパーさんにお願いして秀興の好きな電車に乗って遠出したりしています。これからのことを色々考えると不安はたくさん有り、親が元気なうちに親元を離れてグループホームとかに入れたらいいのにと思う毎日です。